

平成15年度トップセミナーを開催

平成15年4月4日、東京都千代田区大手町の経団連会館において、会員のトップ及び事業所長級の幹部を対象とした平成15年度トップセミナーを開催し、約100名の参加がありました。

今回のセミナーでは、講師として(社)日本原子力産業会議会長 西澤潤一氏と麗澤大学国際経済学部教授 高 巖氏をお招きし、原子力の信頼回復への提言及び企業倫理確立の重要性についてご講演を頂きました。

NSネット牧野理事長の挨拶の後、西澤氏から「原子力信頼回復への提言」と題し、21世紀における日本及び世界のエネルギー供給及び信頼回復について、これまでのご経験を踏まえた具体的な話がありました。

エンジニアリングに携わる者は人間社会に対する貢献が絶えず科学技術の基本にならなければいけないということを忘れてはいけません。

国民に対して、エネルギーがいかに大切なものかということをよく分かっていたらよい努力を傾注すべきではないか。

原子力に関係する技術者が正直に、誠実に仕事をしていくということであれば、多くの国民の信頼をリカバリーすることができるのではないかと。世の中にとって極めて重要なエネルギーソースとしての原子力を安全に運転するためにすべてをなげうっても協力するという気持ちが必要である。

絶えず正しいものに直していく気持ちが必要であり、人間性と科学技術が円満なバランスを取りながら成長していくことが絶対である。



(社)日本原子力産業会議 会長 西澤潤一氏



麗澤大学国際経済学部 教授 高 巖氏

引き続き、高氏から、「企業倫理の確立へ向けて」と題し、企業倫理の取り組みの必要性、取り組み例について食品会社の企業倫理委員会委員長の立場としての事例を交えながら紹介いただきました。

事件や不祥事に対する状況は変化してきており、まじめに仕事をするという限りにおいては、それを具体的に担保する仕組みまで作らなければ社会、市場は納得しない。

最後のところで会社を守るのは、社員が納得して作った行動基準でありそれによって仕事をするのが、よりどころとなる。

取引企業等とも平等な立場で仕事ができるようなパートナーとしての関係を築かなければ、オープンな職場にはなっていないのではないかと。

原子力は信頼の上に成り立つ仕事であり、誠実に仕事をするとは、社員、地域住民の方々、消費者の方々、それぞれのステークホルダーにとって大切な考え方ではないかと思う。

平成15年度総会・第9,10回理事会を開催

4月4日、東京都千代田区の経団連会館において、平成15年度総会と第9,10回理事会を開催しました。



◀ 総会の様子

第9回理事会においては、平成14年度の活動状況の報告が行われたほか、平成15年度の事業計画案、役員選任案など平成15年度総会議案が審議、承認されました。平成15年度総会においては、平成14年度の事業報告、平成15年度事業計画の決定、役員の改選等を行うとともに、NSネットの活動にご貢献いただいた、元日本原子力発電(株)板倉哲郎氏、三菱マテリアル(株)榎原英千世氏、日本原子力研究所 小林晋昇氏の3氏を表彰しました。また、第10回理事会では理事長の選任を行い、牧野理事長が再任されました。

本格的活動開始から4年目となる平成15年度の活動は、NSネットの設立の趣旨である「会員間における安全文化の共有・向上」に向けた活動の一層の充実をめざし、安全文化普及、相互評価(ピアレビュー)および情報交換・発信のそれぞれにおいて、計画を着実に実施し、かつ実効ある活動の展開をはかることとします。

なお、原子力発電所における点検データ不正記載問題等により、失われた原子力に対する信頼の回復に資するため、電気事業連合会の信頼回復委員会とも連携し、会員の倫理観の徹底等NSネットの諸活動をより一層充実させるための方策を実施していきます。



表彰者との記念撮影(左から、梅津事務局長、榎原氏、板倉氏、小林氏、牧野理事長)

平成15年度の主な事業内容

原子力安全文化の普及

原子力安全文化の徹底を図るため、会員の各層を対象としたセミナーを開催します。また、安全キャラバンにおいては、原子力発電所の点検データ不正記載問題等を受け、会員に倫理観を徹底させるため、外部の専門家を中心とした「倫理」に関する講演を中心に実施し、平成15年度は11事業所を訪問する予定です。

会員間の相互評価(ピアレビュー)

平成15年度のピアレビューは、10月には会員の一巡目のレビューが終了します。二巡目については、複数事業所を有する会員を当初に優先して実施する予定です。レビューにあたっては、原子力発電所の点検データの不正記載問題等を受け、倫理プログラムや内部の声を真摯に受け止める制度・風土の構築、データ改ざん防止システムの構築等の事項については、従来にも増して重点的に相互評価します。

原子力安全に関する情報交換・発信

活動状況のタイムリーな提供を従来どおり進めるとともに、メールマガジンを利用したアクティブな情報発信を実施するための内容の充実を図っていきます。一般向けホームページには、一般の方々からのご意見等をいただく掲示板を設置するとともに、海外向けのメールマガジンについても上期を目標に開始する予定です。

平成15年度 事業計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総会、理事会 評議員会	理事会/総会 H14 決算報告 H15 収支計画 H15 事業計画			評議員会				理事会			評議員会	
安全文化普及活動 ● セミナー関係	トップ セミナー	他機関との共催セミナー(随時)				年次セミナー 管理者セミナー					管理者 セミナー	
● 安全キャラバン			第50回 キャラバン	第51回 キャラバン	第52回 キャラバン	第53回 キャラバン	第54-55回 キャラバン	第56回 キャラバン	第57回 キャラバン	第58回 キャラバン	第59回 キャラバン	第60回 キャラバン
● 刊行物	← NS ネットニュース発刊(随時) →											
相互評価 (ピアレビュー)		第31回 相互評価	第32回 相互評価	第33回 相互評価		第34-35回 相互評価	第36回 相互評価	第37回 相互評価		第38回 相互評価	第39回 相互評価	第40回 相互評価
情報交換・発信 ● 一般向け ホームページ	← ホームページの更新・拡充・海外へのトラブル情報の発信 →											
	← ホームページの改良(メールマガジン、コラム、フォーラム、NSネット活動のアンケート等) →											
● 会員向け ホームページ	← データベースへの新規データ登録、会議室を使った会員間の情報交換の促進 →											
	← より分かりやすいデザイン・構成への見直し、検索機能の追加 →											

ICONE-11への出展について

平成15年4月21日から23日に東京都新宿区の京王プラザホテルで開催された第11回原子力工学国際会議(ICONE-11)においてブースを出展しました。

ブースでは、NSネットの活動PRビデオの上映、NSネットというネットワーク組織の説明、アンケート等を実施しました。原子力関係の国際会議への初めての出展、ということで、不慣れな点もありましたが、国内外の原子力専門の方々へ、NSネットの存在をPRすることが出来ました。

NS ネットでは、今後も、可能な限り様々なイベント等に積極的に参加し、原子力安全文化の普及と倫理観の徹底をはじめとした NS ネットの活動を広く紹介していく所存です。



NS ネットのブース



対応状況

第30回相互評価の実施

今回は、第30回の三井造船(株)玉野事業所で行われたピアレビューの状況を紹介します。ピアレビューの概要及び報告書の全文をNSネットのホームページ(<http://www.nsnnet.gr.jp/>)に掲載していますのでご覧ください。

平成15年2月18日から20日にかけて行われた第30回のピアレビューは、九州電力(株)、原子燃料工業(株)、(財)電力中央研究所の専門家及びNSネット事務局(計4名)が評価チームに参加し、組織・運営、教育・訓練、設計・製造、重要課題対応の分野について、原子力産業界のベストプラクティスに照らして評価を行いました。さらに、倫理関係、コミュニケーション、データの取扱い等にも注意を払ってレビューしました。

評価の結果、玉野事業所においては、「No Change No Chance」のスローガンのもと組織及び個人の変革活動を実施し、品質、技術、原子力安全・労働安全の確保に真剣かつ誠実に取り組んでいる状況が確認されました。

また、NSネットの会員外から、デュボン(株)安全衛生環境部長 兼 セーフティ リソース事業開発部長の 竹川士夫氏にオブザーバー参加いただき、「NSネット参加企業のピアレビューは先進的であり、このような活動を着実に継続実施することにより原子力関連産業全体のイメージ向上に役立つと信じます。」との講評をいただきました。



報告書の提出

牧野理事長(写真左)より三井造船(株)元山社長(写真右)へ

主な良好事例

- 「モニタリングシート」を活用した効果的な予防保全活動の実施
- 「セーフティアップ運動」の実施による活動方針浸透及び目標達成の管理
- 「革新的リーダー研修会」等による組織的意識変革の実施
- 合同QCパトロールによる製品安全に対する取り組み
- 作業員自ら毎日安全目標の確認
- BPS全社活動によるトラブル削減活動

改善提案

- 原子力に対するより一層の理解促進のための教育訓練資料へのカラーイラスト等の活用
- 緊急時連絡要領の現場表示等のさらなる工夫
- R1取扱施設における更なる安全管理の徹底

第49回安全キャラバンの実施

今回は、第49回の安全キャラバンの様子について紹介します。安全キャラバンの詳しい内容については、NSネットのホームページをご覧ください。

訪問日	平成15年3月20日
訪問事業所	九州電力(株) 玄海原子力発電所
安全講演会 講師	(株)グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン 取締役 顧問 村上 和子 氏
講演テーマ	GEの企業倫理について



村上氏

「GEの場合はトップが常にコミットしている、ということがインテグリティやコンプライアンスを普及させる一つの大きな要素だのように考えています。」



NSネット (ニュークリアセーフティネットワーク)
NSネット(ニュークリアセーフティネットワーク)は、東海村のウラン加工施設における臨界事故を教訓として、原子力の安全文化の共有化・向上を図るために設立された相互交流ネットワーク組織です。

NSnet News No.19 2003年6月発行
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル437号室
TEL:03-5220-2666 FAX:03-5220-2665
インターネットでNSネットの詳しい活動内容をご紹介します。
<http://www.nsnnet.gr.jp>

